

1 中なかいいネ！って何？

中なかいいネ！は、中区地域福祉保健計画の愛称です。地域の人々がお互いに支えあいながら、誰もが住み慣れた地域でいつまでも安心して健やかに暮らせるまちを目指して、中区に住む人・働く人・学ぶ人・すべての人々が協力しながら進めていく計画です。

第5期中なかいいネ！では、福祉保健分野に限らず、幅広い地域活動を計画の対象とします。

市計画・区計画・地区別計画の関係

地域福祉保健計画とは、「地域福祉の推進」の概念を具体化する取組として、社会福祉法第107条に基づき市町村が策定する計画です。

横浜市の計画は、市計画、区計画、地区別計画の3層で構成されています。

市計画

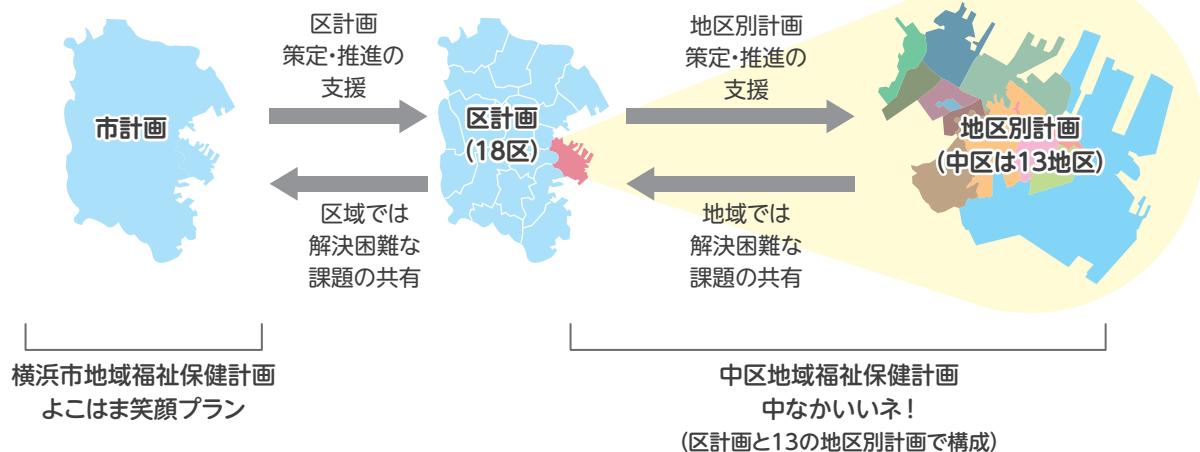
市全体の基本理念と方向性を示し、区計画の策定・推進を支援する計画です。

区計画

区の特性を踏まえて、区域の共通課題に対する取組の方向性をまとめた計画です。

地区別計画

地域が目指す姿や地域活動について、地域が主体となってまとめた計画です。



◆ 中なかいいネ！の計画期間

第5期計画の期間は、令和8～12年度の5年間です。

第1期計画

平成18～
22年度

第2期計画

平成23～
27年度

第3期計画

平成28～
令和2年度

第4期計画

令和3～
7年度

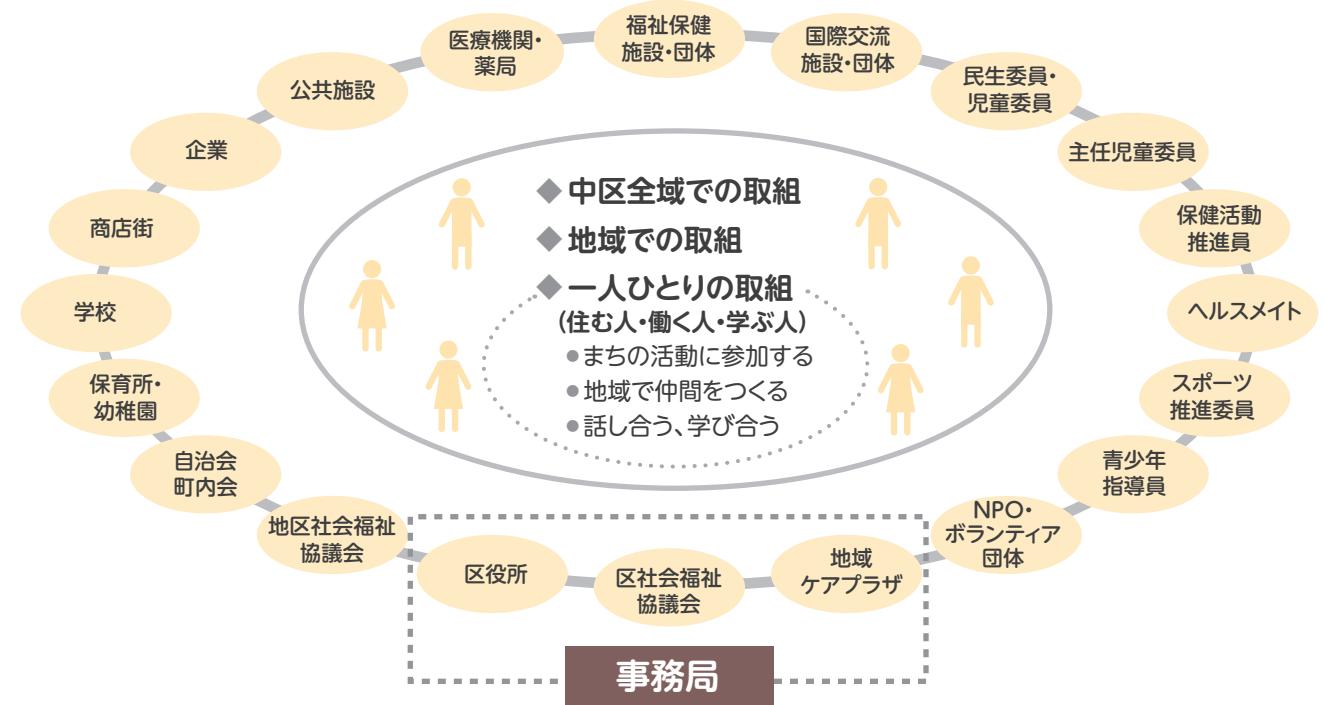
第5期計画

令和8～
12年度

2 中区全体で取り組もう!

中区に住む人・働く人・学ぶ人・すべての人が取り組む

中なかいいネ！では、地域住民、活動団体や施設、企業、行政などが、それぞれの立場で地域活動に参加し、できることを話し合い・学び合いながら、まちづくりを進めています。



区役所

区役所一体で
誰もが愛着を持てる
中区に！

各課の専門性を生かしながら、関係機関と連携して、区計画を総合的に推進します。

また、13地区の地区別計画が円滑に推進されるよう、区役所全体で地域をサポートします。地域活動の充実を図りながら、必要な人に必要な支援が届く仕組みをつくっていきます。



中区シンボルマーク

区社会福祉協議会

誰もが安心して
自分らしく暮らせる地域社会を
みんなでつくりだす

区内13地区の地区社会福祉協議会の活動支援や、ボランティアセンターの運営をはじめとした各種事業の展開を通じて、中区の皆さんとともに、住み慣れた場所での「ふだんの暮らしの しあわせ」の実現を目指します。



ほら、
よこはまは
あったかい

横浜市
社会福祉協議会
シンボルマーク



社会福祉協議会
シンボルマーク
(全国共通)

地域ケアプラザ

地域に寄り添い、
笑顔をつなぐ、
中区地域ケアプラザ

地域にすすんで出向き、住民や団体と協力しながら、活動の継続支援や居場所づくりの発掘などを進めます。

また、積極的な情報発信を通じてコミュニティの活性化に取り組み、「活力ある中区」の実現を目指します。

新山下、不老町、麦田、本牧原、簗沢、本牧和田の6館

